

国際リニアコライダーがやってくる!?

第16話 「ケロ平、平泉中生の感想を聞く」



8月5日～7日、平泉中の3年生3人が茨城県にあるKEK研究機構を視察したんだよね。

2013岩手県ケロ平 designed by センウェル

ケロ平…ぼくもびっくりしたけど、みんなはどうだった？

拓 真…施設にも驚いたけど、そこで働く研究者のために新しい町を造っていたこと。

彩 加…そう！ 町を人工的に造るなんて、ちょっと考えられないよね。

健 …あと、たくさんの外国人研究者がいたよ。

ケロ平…そのKEK研究機構よりも大きなILCが誘致されようとしているのか～。

後輩のみんなにも、ぜひ見学してほしい。行くことによって他校の生徒とも交流が持てる。今KEK研究機構を見学しておく、必ずILCが誘致されたときに、役に立つはず！



ケロ平…そうだね。ロマンあふれる宇宙誕生の謎を、平泉中生が解いてほしいなあ。

(つづく)

平泉を掘る

月館大師堂にあるお大師さまは古くから信仰の対象として広く知られていました。近年このお大師さまが12世紀の石仏であることが分かってきました。(写真1)

お大師さまがいる場所は周辺より少し小高くなっていて、この高まりがいつ作られたかを確認するために発掘調査を行いました。その結果、お大師さま周辺の高まりは3時期(中世・江戸時代・明治時代以降)の変遷があることが分かりました。

中世:お大師さまを囲んでいる石柵の下からは、20～30センチの石で構成された円形の石組が見つかりました(写真2)。この石組は出土遺物が無いため時期は不明ですが、江戸時代の一字一石経によって壊されていること、周辺から12世紀のかわらけ片と常滑片が出土していることから、お大師さまを据えるための基礎部分や中世の経塚などの可能性があります。

江戸時代～明治初頭:お大師さまの北側では他の部分では表面にしかない川原石が40センチほど堆積しており、ここからは墨で「一」や「阿」などが書かれた石が出土しました。この石は経典の字のうち一文字を書き写し、それを埋納した一字一石経と考えられます。同じ場所から寛永通宝が出土していることから、江戸時代のものと考えられます。

明治27年～現在:お大師さまの周りには石柵があり、柱

発掘最前線 ⑬

— 月館のお大師さま —

には明治27年に作られたことが記されています。この石柵が作られた時に背後の磐座を北端にして東西6メートル、南北8メートルの範囲に川原石を敷き詰め、西側は元々露出していた岩を端に、東・南側は大きな凝灰岩を並べて縁石として、お大師さま周辺の環境整備が行われており、現在私たちが見ている空間は明治27年に作られたことが分かりました。



写真1 お大師さま

近年12世紀の石仏であることが分かったお大師さま。周囲には石柵があり、明治27年に作られたことや寄進された人たちの名前が記されていました。



写真2 石組

明治27年の石柵と江戸時代の一字一石経の下から、円形状の石組が見つかりました(写真中央左側)。この石組はお大師さまを据えるための基礎や中世の経塚の可能性が考えられます。

財政状況

健全化基準をクリア

財政状況が良好かを示す指標に財政健全化判断比率と資金不足比率があります。国が示すこの指標の判断基準によって町の財政が「健全団体」「早期健全化団体」「財政再生団体」のいずれの状況にあるか、また各会計の経営状態はど

うなのか判断することができません。この指標のうち一つでも基準値以上になった場合は、それぞれ法律で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。町では、基準を超える項目はなく、財政は健全であるといえますが、引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

平成26年度 財政健全化の指標

1) 財政健全化判断比率

区分	平泉町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	10.2%	25.00%	35.00%
将来負担比率	46.7%	350.00%	—

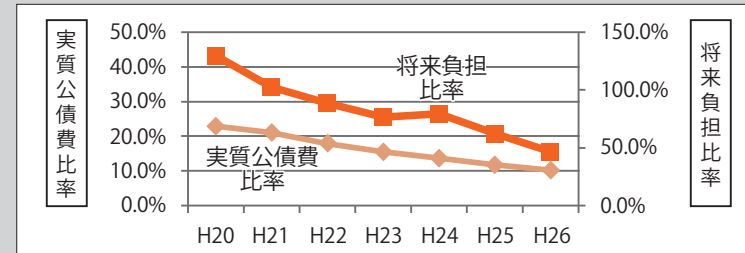
※表中の各基準値は国が示した数値です。
※赤字額がない場合は「—」で表しています。

2) 資金不足比率

特別会計などの名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00%
簡易水道事業会計	—	20.00%
下水道事業会計	—	20.00%
農業集落排水事業会計	—	20.00%

※表中の各基準値は国が示した数値です。
※資金不足がない場合は「—」で表しています。

3) 実質公債費比率と将来負担比率の推移



平成26年度末地方債現在高

会計	地方債現在高
一般会計	50億 917万円
下水道事業会計	22億6635万円
農業集落排水事業会計	6億1769万円
簡易水道事業会計	5億 715万円
上水道会計	9億4774万円
合計	93億4810万円

借金は減少、積立金は増加
町の地方債(借金)の現在高は、平成26年度末93億4810万円、ピークであった16年度末(121億1379万円)と比較して27億6569万円減少しています。この借金は、学校改築、道路改良、住宅建設、災害復旧など町民の生活に密着したものであり、長期間使用するもので、無駄なものはありません。一方、基金積立金(貯金)の現在高は19億9535万円、20年度末と比較して10億2381万円増加しています。

